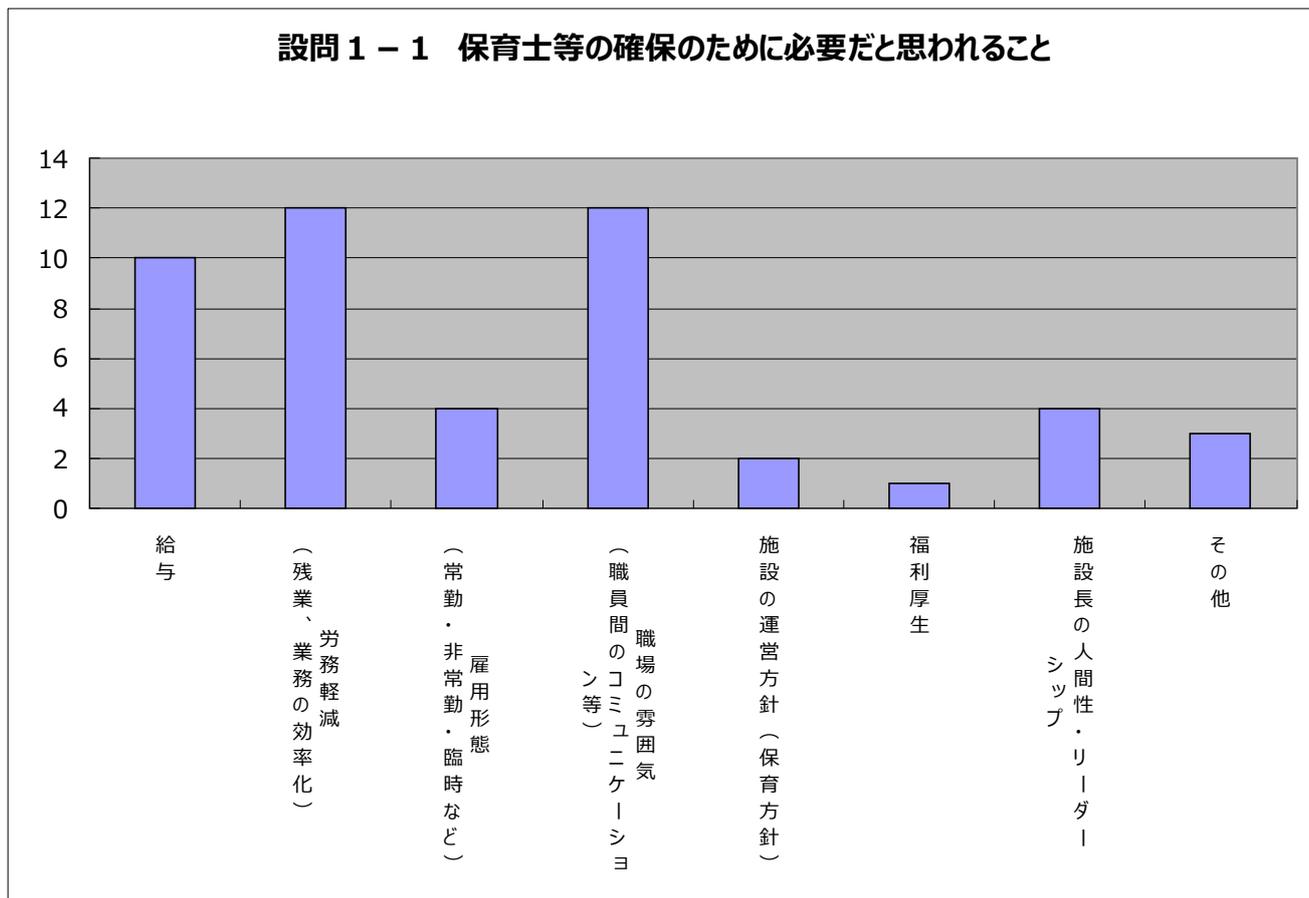


令和3年度 教育・保育推進部会委員アンケート(令和3年7月実施)集計結果報告

I 保育士確保について

設問1 保育士等の確保のために、重要だと思われることを次の選択肢①～⑧から3つ順位を付けて選択してください。重要だと思う選択肢がない場合は、「⑧その他」を選択し、内容を記入してください。



※「その他」の回答内容

- ・自分の働きたい時間とそれに応じた労務と給与であるか。自分の働き方とのマッチング。
- ・以前と違ってかなり改善され、働きやすくなったと聞いております。

設問2 設問「1」で回答した重要項目を改善し、保育士確保につなげるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(自由記述)

- ・神奈川県や大阪府のように地域限定保育士試験を導入する。
- ・企業主導型保育施設の進出は保育士不足に拍車をかけています。待機児童問題の解消に向けて創設したのだから、待機児童が解消した現状では企業主導型保育施設は必要ないと思います。
- ・主幹保育教諭の代替が他の加算の適用外となっているが、加算Ⅱとの関連が、今一つ理解できていない。Ⅱを利用しての採用ができればいいと思う。
- ・今現在取り組んでいただいている事業を、さらに多くの市民の皆様知ってもらえるような取り組みが必要かと思います。

- ・有料の紹介所の利用が多いのは、「自分の働き方について細かい対応をしてくれるから」という話を聞く。選択肢のある求人の工夫、仕事内容の明確化などに取り組む必要がある。
- ・職場を離れる理由として職員間のコミュニケーション等が多く、関連する④、⑤、⑦も重要な問題である。しかし、保育士等不足は各園の努力だけでなく、社会全体の問題でもある。保育士等についての地位向上をはかる必要があると考える。給与や労務形態など待遇面の改善が望まれる。
- ・保育士の労働条件の向上と、継続して雇用維持するための取り組みが必要だと思います。

設問3 保育士を確保するためのアイデアがあれば、記入をお願いします。

- ・私の周りには何人かではありますが、週1～2日、3時間程度保育園で働いている方がいらっしゃいます。いずれも保育士経験者で、お子さんをもつママです。お子さんが幼稚園、小学校に行っているあいだのみ、働きたいという潜在保育士さんは割と多く、そのような方は人づてでの就職となっているようです。そのような方に求人が届くよう、子育て情報誌への広告（告知）掲載、支援センターなどへの情報提供などが有効ではないだろうかと考えます。
- ・保育士等の賃金は、その労働量・責任の重さの対価としては民間会社と比較しても低い状況が続いております。さらなる賃金アップが必要だと思います。定員割れをもたらしている施設は赤字が生じ、賃金アップが厳しい状況です。宮崎市保育士等確保のための処遇改善補助事業の引き上げが必要だと思います。
- ・宮崎県保育士支援センターに登録している各園の求人情報等を下記のイベント等（保育士等再チャレンジ研修、保育のお仕事就職説明会、保育士セミナー等）で市の方から発信してもらえたらと考える。
- ・フリーペーパーや広告、ポスター掲示を積極的に行い、どの年齢層の方々にも触れることができるよう公共の各施設等に掲示する。
- ・各自治体の回覧板にのせる。
- ・もっと保育士の仕事のやりがいや長く勤められる仕事であることなどもアピールできればと思う。（看護師、教員、薬剤師、警察官、弁護士などはテレビドラマでも主役の職業として取り上げられ、いろいろな意味で仕事の良さも大変さも伝わる。なぜ保育士はないのか…）
- ・子育てに力を入れている自治体が、子育て世代の家族移住につながっている事例もあります。人口減少問題に直面する宮崎市においても、「子育てしやすい自治体NO1」（例）のように、思い切った事業を検討していただきたいと思います。その中で保育士確保のさまざまな事業も効果を出すと思います。
- ・資格を持っている方の掘り起しなど。
- ・仕事を家に持ち帰ったり、書類提出等目に見えない負担があるとも聞きます。作業が機械化する中、ますます大変だとは思いますが、簡潔に少しでも負担が少なくなるような体制づくりが実現することを望みます。

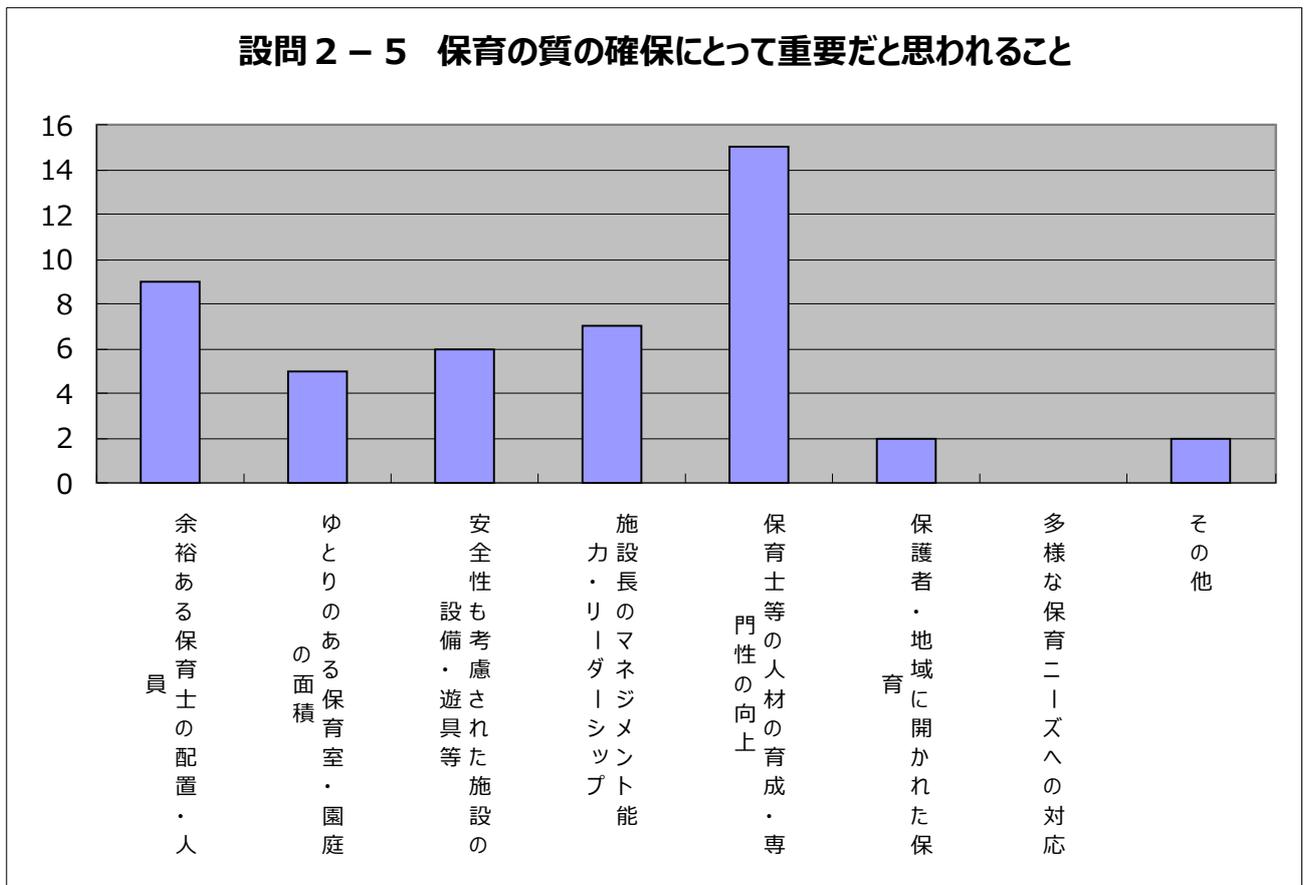
II 保育の質について

設問4 「保育の質」とは、どのようなものだと思いますか。（自由記述）

- ・目が行き届いた状態で子どもに自由にのびのびとあそべる環境を提供してくれる。
- ・子どもの自由な発想に対応できる保育士がいて環境が整っている。

- ・バランスの取れた栄養のある食事の提供。
- ・研修に参加して、知識、専門性の向上は当然ですが、いかに保育士が元気よく笑顔で子どもに向かい合うことができるのかだと思います。また、そのような状況をいかに作るかだと思います。
- ・保育者が教育・保育要領に定める目標を常に意識し、日々の保育を計画的に行っていくことにより、一人ひとりの子どもたちがより輝くことができる園生活が実現すること。
- ・保育士が目前の子どもに対するその心のもちようだと思います。子ども達への言葉かけの質、ピアノの質も含まれるかと思いますが、保育の経験を重ね、常に向上心を持ち、就学前教育・保育に真摯に向き合う姿勢のようなものだと思います。
- ・子ども主体の活動の重視
- ・職員同士の関係性が良い（園の雰囲気）
- ・保護者や地域に開かれている
- ・いわゆる「昭和型」の鋳型にはめる保育からの脱却の関係をよく耳にする。子どもたちの「主体性」を大事にした保育への転換が課題としてある。
- ・保育する側が理念や方針をもって、適切に子どもに接していくこと。そのためには、プロとしての知識やスキルも身につけていること。

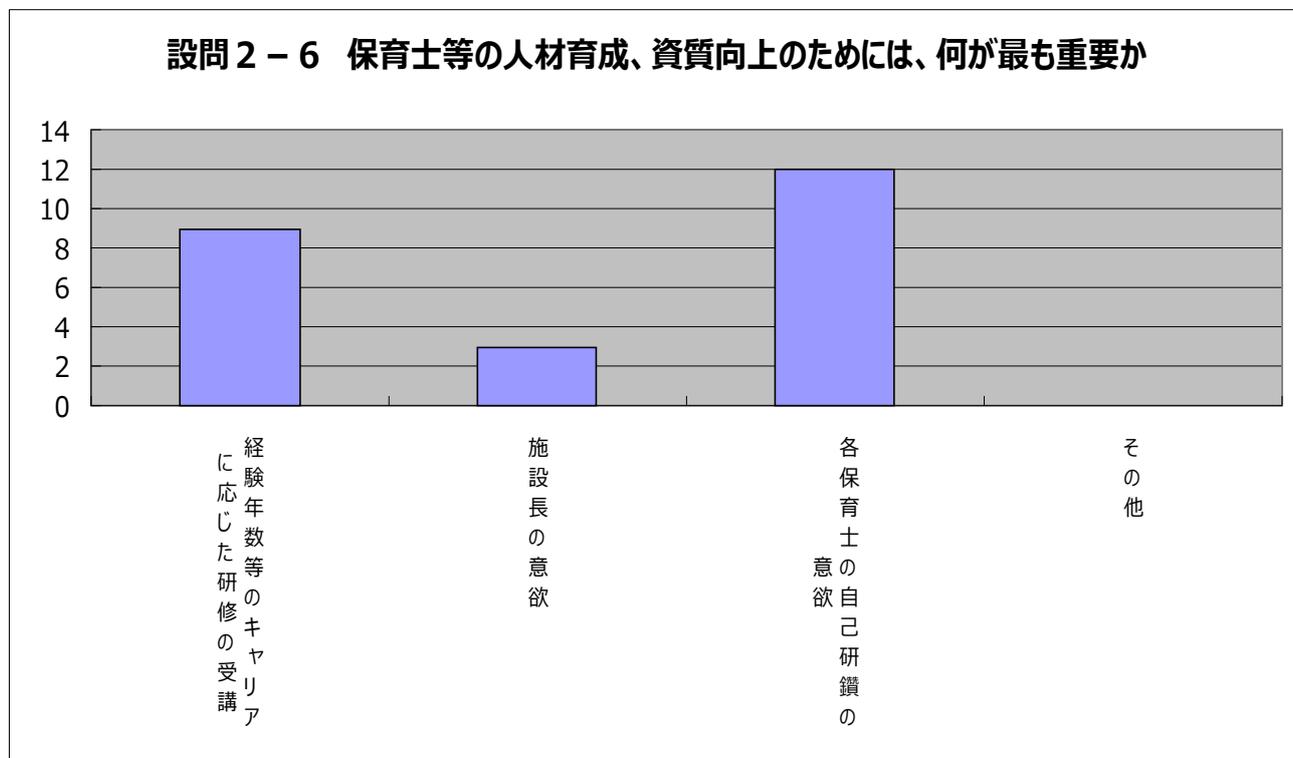
設問5 保育の質の確保にとって重要だと思われることを、次の選択肢①～⑧から3つ選択してください。重要だと思わない場合は、「⑧その他」を選択し、内容を記入してください。



※「その他」の回答内容

- ・自己評価、園内研修

設問6 保育士等の人材育成、資質向上のためには、何が最も重要だと思いますか。一つ選択してください。重要だと思う選択肢がない場合は、「④その他」を選択し、内容を記入してください。



設問7 保育の質を確保するためには、どのような取り組みが有効と思いますか。(自由記述)

- ・保育士と保護者がしっかりとコミュニケーションをとり、信頼関係を築いたうえで、互いの努力点について話し合う（面談する）機会を設け、意見を共有すること。
- ・保育の質を確保するためには、いかに保育士・職員が元気で笑顔で子どもに向かい合うことができるかだと思います。定員割れだったらその状況にはなれません。定員割れの原因となっている企業主導型保育施設の進出を止める取り組み。
- ・保育者の安定した収入等の保証と同時に、研究・研修の機会を提供しつつ自己研鑽意欲の向上を促すことができる体制を構築すること。
- ・常に自分自身の保育を振り返り、評価を行い、課題を見つけ、自己に向き合う機会や研修
- ・外部研修、園内研修の充実
- ・園長、リーダーを中心にした園の方向性の柔軟な変化
- ・現在の保育をめぐる環境は刻々と変化している。変化に対応し、広い視野を持った保育が行われるように定期的な研修も必要である。
- ・積極的な研修と、ひとりひとりの子どもと向き合える人事配置。
- ・施設長が保育士各々の長所を生かし、全体に繁栄していくことも大事なかなと思います。

設問8 これまで市では、下記【これまでの監査状況】等に記載してあるように、年に1回の定期監査により、施設（認可外も含む）の運営状況を確認し、必要に応じて指導、助言を行っております。監査の実施方法について

て、どのような方法がよいと思うか、一つ選択してください。選択肢がない場合は、「④その他」を選択し、内容を記入してください。

